

経001	項目名	プレミアム付き商品券発行事業費	
予算書項目	地域経済活性化促進事業費	ページ	27
年度	H27		
所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222		
款 商工費	【9次総の施策体系】4203、5103		
項 商工費	【事業の経過及び背景】		
目 商工業振興費	国が今後5か年の目標や施策等を盛り込んだ「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定するとともに、地域住民生活等緊急支援のための交付金制度を創設したことを受けこれに呼応した地域経済活性化施策の実行が求められている。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
補正前額	0	地元商店街が実施する割増付商品券（プレミアム付き商品券）発行事業を支援することにより、地元中小小売業者等の販売意欲ならびに消費者の購買意欲を高めることで、地域経済の活性化を図る。	
要求額	12,537	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	12,537	市民からの購入予約申込が短期間に殺到したことに伴う混乱を收拾するため、事業主体が商品券の追加発行に要した経費の一部（プレミアム部分の90%）を補助する。	
市長段階査定額	12,537	1. 実施主体 鳥取市商店街振興組合連合会（協力：鳥取市三商工会連絡会）	
区分	補正額	2. 販売単価 10千円（額面12千円）	
財源内訳		3. 販売額 1,283,580千円（当初予定1,200,000千円）	
国・県支出金	0	4. 販売数 106,965冊（当初予定100,000冊）	
地方債	0	5. 補助内容 ・プレミアム部分192,537千円（当初予定180,000千円） ・事務費 20,000千円	
その他	0	6. 取扱店舗 631店舗（当初予定500店舗）	
一般財源	12,537	7. 購入上限額 1人あたり50千円、1世帯あたり150千円	
計	12,537	8. 利用期間 H27年3月20日～9月19日（6月間）	
行財政改革課処理欄			

経002	項目名	ふるさと産業規模拡大事業	
予算書項目	伝統産業等支援事業費	ページ	27
年度	H27		
所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249		
款 商工費	【9次総の施策体系】5102		
項 商工費	【事業の目的及び効果】		
目 商工業振興費	既存事業拡大に伴う設備導入等に対して支援し、市内ふるさと産業（陶磁器、竹工、酒造、菓子、木製家具、建具等）の振興を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
補正前額	2,500	ふるさと産業で製造等行う事業者が、生産ライン又は販売所の拡充又は整備等の既存事業拡大のための設備導入を行う事業に対し支援する。	
要求額	524	青谷町の和紙生産業者が、現在の貯水タンクの水をフル活用することが出来、半永久的に使用できる材質のタンクを導入、また、透かしのり紙を製造するために必要な器具の取り付けを行い、今後20年間生産可能な技法で和紙生産を行う事業に対し助成を行う。	
総務部長段階査定額	524	・補助率 1/2 ・補助限度額 2,500千円 ※県の交付金対象事業であり、市の負担額の2割以内の交付金が見込まれる。	
市長段階査定額	524	【事業の内容】	
区分	補正額	ふるさと産業で製造等行う事業者が、生産ライン又は販売所の拡充又は整備等の既存事業拡大のための設備導入を行う事業に対し支援する。	
財源内訳		青谷町の和紙生産業者が、現在の貯水タンクの水をフル活用することが出来、半永久的に使用できる材質のタンクを導入、また、透かしのり紙を製造するために必要な器具の取り付けを行い、今後20年間生産可能な技法で和紙生産を行う事業に対し助成を行う。	
国・県支出金	104	・補助率 1/2 ・補助限度額 2,500千円 ※県の交付金対象事業であり、市の負担額の2割以内の交付金が見込まれる。	
地方債	0	【事業の内容】	
その他	0	ふるさと産業で製造等行う事業者が、生産ライン又は販売所の拡充又は整備等の既存事業拡大のための設備導入を行う事業に対し支援する。	
一般財源	420	青谷町の和紙生産業者が、現在の貯水タンクの水をフル活用することが出来、半永久的に使用できる材質のタンクを導入、また、透かしのり紙を製造するために必要な器具の取り付けを行い、今後20年間生産可能な技法で和紙生産を行う事業に対し助成を行う。	
計	524	・補助率 1/2 ・補助限度額 2,500千円 ※県の交付金対象事業であり、市の負担額の2割以内の交付金が見込まれる。	
行財政改革課処理欄			

経003	項目名	公設地方卸売市場事業費特別会計へ繰出	
予算書項目	公設地方卸売市場事業費特別会計へ繰出	ページ	29
年度	H27		
所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222		
款 商工費	【9次総の施策体系】5103		
項 他会計繰出	【事業の目的】 公設地方卸売市場事業費特別会計への繰出		
目 公設地方卸売市場事業費特別会計へ繰出	【事業の内容】 公設地方卸売市場青果棟の保冷設備において、設備を開閉するジャバラシートを巻き上げるシャフトが本年7月に破損したため、これを修繕するための費用を繰り出すもの。		
(単位:千円)			
補正前額	13,476		
要求額	724		
総務部長段階査定額	724	その他財源の内訳	
市長段階査定額	724	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	724	
	計	724	
行財政改革課処理欄			

経004	項目名	広域観光開拓・推進事業費(地域住民生活等緊急支援のための交付金活用事業)	
予算書項目	広域観光開拓・推進事業費	ページ	27
年度	H27		
所属名	経済観光部 観光戦略課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227		
款 商工費	【事業の目的及び効果】 県東部圏域での滞在型観光の実現及び国際観光の推進のためには、多様化する観光客のニーズやその行動範囲の拡大に対応した「広域観光」の展開が急務である。 県東部圏域を中心に但馬地域とも連携し、各地の優れた特色ある観光資源を活用し広域観光の推進を図る。		
項 商工費	【事業の内容】 (1) 広域観光ランドデザイン策定 県東部・但馬圏域における今後5年間の圏域連携による観光振興の方向性を示す観光ランドデザインを策定する。今年度は策定に必要な情報収集や基礎調査・分析を行う。 (2) 広域観光ルートの創出 鳥取砂丘、山陰海岸ジオパーク、温泉、城跡などを結び、若桜鉄道や智頭急行、観光バスを活用した周遊観光商品の造成やイベント開催、広報を実施する。 (3) 観光ガイドアプリの開発 観光地・観光施設等での観光案内用ARアプリを開発・設置し、多言語対応等により国内外からの観光客の満足度を向上させる。 (4) 海外プロモーション活動 海外からの観光客誘致のため、多言語による観光案内動画の製作、海外での放映等のプロモーション活動を行う。鳥取・台南チャーター便を活用して観光団を派遣する。		
目 観光費	※その他財源の諸収入は、因幡・但馬広域観光連携事業負担金		
(単位:千円)			
補正前額	0		
要求額	23,380		
総務部長段階査定額	13,380	その他財源の内訳	
市長段階査定額	23,380	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	4,640
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	4,640	
	一般財源	18,740	
	計	23,380	
行財政改革課処理欄			